

6年「新しい日本に」

展開例

○主題…先生の願いや意図が明確になるよう1文で表します

○導入…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます

○展開前段＝立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び

○つなぎ発問①＝ツッコミ発問

展開後段の主題発問を考えるために、児童生徒の実感に基づいた見方や考え方を広げる問い

○展開後段＝主題発問…道徳的価値について考えを深める学び

道徳的価値の「捉え」「よさ」「大切さ」「態度」「意欲」を考えさせる

○つなぎ発問②…展開後段で出された道徳的価値への考えを具体化する問いや話を入れ、児童生徒の実感を伴うような在りたい姿、あるはずの姿をイメージさせ、終末の振り返りの動機付けにする

○終末＝主体発問…自己の生き方について考える学び

今やこれからの自分を考えて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

- ・今日の学習から、新しい考え方をみつけることができた
- ・今日の学習から、これからの自分に向けて、心に残しておきたいと思う大切なこと
- ・今日の学習から気づいた自分のよさを生かしたいこと
- ・今日の学習から、自分の思いや考え方が変わったこと、よくなったこと
- ・今日の学習から、よりよい自分の姿を想像できたこと

どれを書いてもいい。混ぜて書いてもいい。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	龍馬、今度は私たちの出番ぜよ
導入	社会科で幕末の学習をしましたね。今日は、その中で活躍した坂本龍馬の心を考えてみましょう
展開前段	龍馬の夢・・・新しい国 外国が日本に入り込む 龍馬の心 外国と貿易を行い、国を豊かにしたい 外国が、日本を自分たちのいいようにしてしまう 薩摩藩と長州藩の争い 「薩摩がこうした、長州がどうしたではない。お国のためだ」 薩長同盟が結ばれる ○薩長同盟が結ばれて、龍馬は、どんなことを思ったでしょう 大政奉還…日本人同士で血を流さず新しい政府ができる 一八六七年 暗殺される ○龍馬は、意識が遠くなっていくとき、どんなことを思ったでしょう
つなぎ発問	○龍馬がめざした「新しい日本」とは、どのような国なのでしょう ○今の日本を見て、龍馬は、どんなところがよくないと言うでしょう ○これからの日本は、どんな日本だったらいいでしょう
展開後段	みんなが「新しい日本」をめざして、どんな思いを大きくしていくとよいのでしょうか
想像する問い	十年後、実現できたらよいのは、どれですか
振り返り	